

科 目 名				学 年
文化と社会:Culture and Society				4B
教 員 名		江波 昌子:ENAMI Masako		
単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
1	100分×15回	必修	講義・後期	○
授業概要	18世紀から20世紀にかけてのドイツ語圏における音楽と文学について、具体的な作品を鑑賞しながら、その歴史的な流れを知ることが目的とする。時代の流れを縦軸に、時代の傾向を横軸にして、音楽も文学もどのように表現方法を変えていったのかということを知り、歴史の中で育まれてきた豊かな文化に親しむことで、教養を身につける。			
到 達 目 標			評 価 方 法	
1) 18世紀以降のドイツ文学史と音楽史の流れが理解できる。 2) ドイツの文学や音楽に親しみ、個々の作品を歴史の流れの中でとらえることができる。			① 中間試験(35%), ② 期末試験(35%), ③ 自学自習レポート(30%)で評価する。	
学習・教育目標		F③④	JABEE基準1(2)	(a)
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	オリエンテーション	18世紀以前の歴史についての概説 1	
	第2	歴史	18世紀以前の歴史についての概説 2	
	第3	音楽1	18世紀の歴史と作曲家 1	
	第4	文学1	18世紀の歴史と作家 1	
	第5	音楽2	18世紀の歴史と作曲家 2	
	第6	文学2	18世紀の歴史と作家 2	
	第7	音楽3	19世紀の歴史と作曲家 3	
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。	
	第9	文学3	19世紀の歴史と作家 3	
	第10	音楽4	19世紀の歴史と作曲家 4	
	第11	文学4	19世紀の歴史と作家 4	
	第12	音楽5	19世紀の歴史と作曲家 5	
	第13	文学5	19世紀の歴史と作家 5	
	第14	音楽6	19世紀の歴史と作曲家 6	
	第15	まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調査を行う。	
自学自習の内容		教科書を参考にして作品を1つ選び、それについてレポートする。		
関連科目				
教 科 書		適宜プリントを配布する。		
参 考 書				
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。		
副担当教員		高橋正和		
備 考				